





# 水魔の悪

イタイイタイ病との戦い

たいまつ<sup>ひ</sup>の火<sup>も</sup>は燃<sup>ま</sup>えての巻

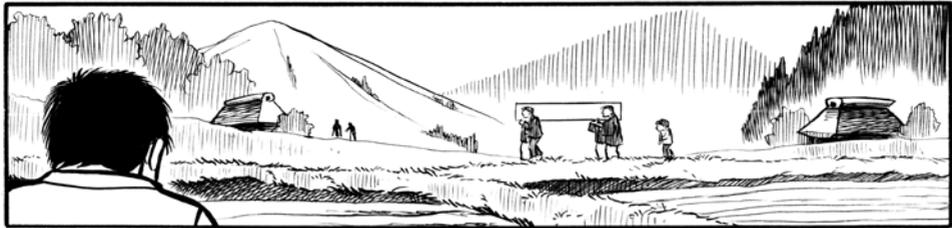
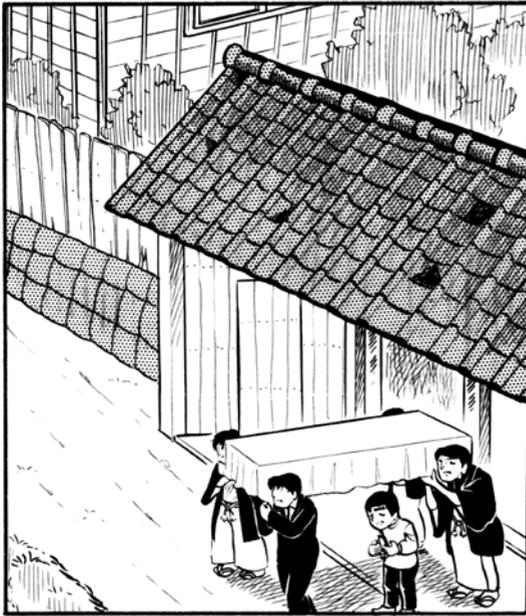
しの<sup>はら</sup> 幸<sup>ゆき</sup>雄<sup>お</sup>  
篠原 幸雄





※この物語は、イタイイタイ病と戦う医師、萩野昇氏の手記をもとにして描いたフィクションです。





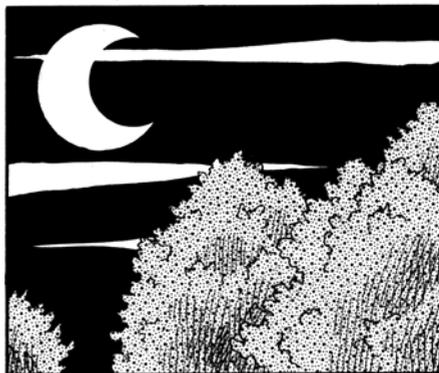


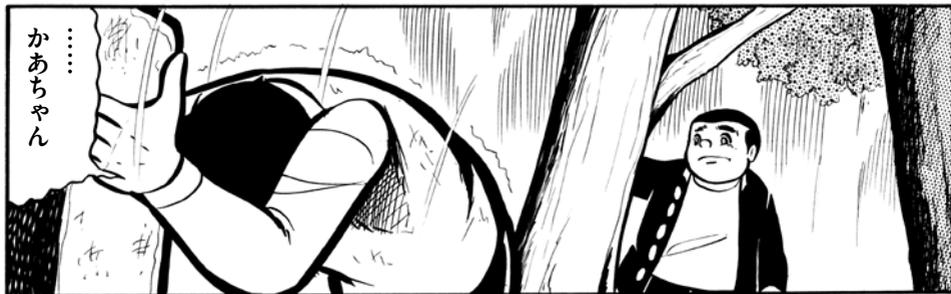
じぶんの  
 研究に  
 夢中になりすぎて  
 妻が結核に  
 かかっている  
 ことに  
 気づかなかった  
 わたしが悪いんだ

よせ!!



ううう  
ううう  
ううう





かあちゃん  
……

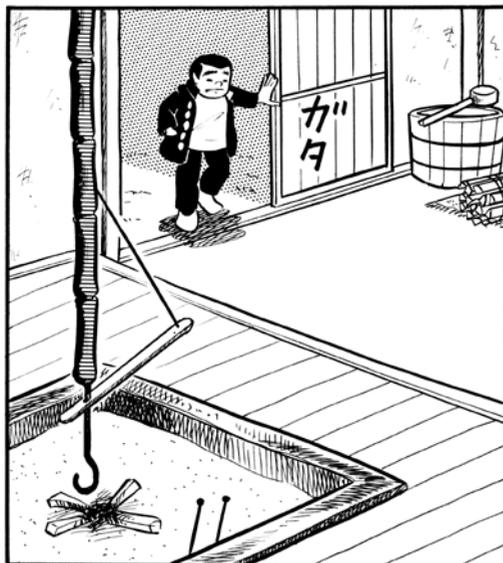


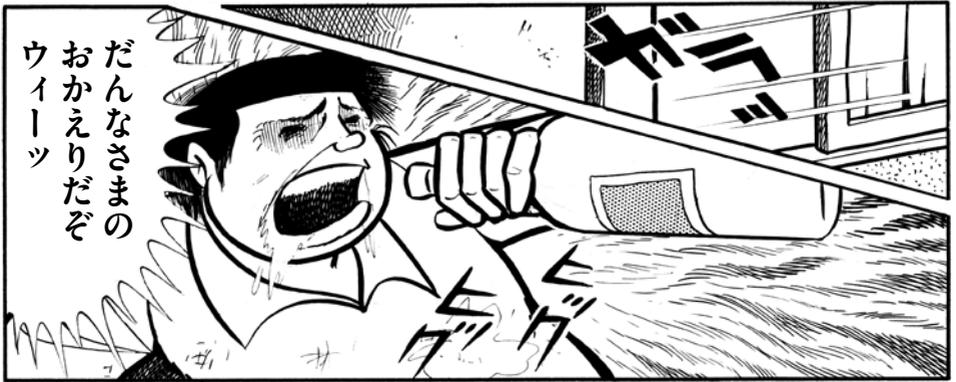
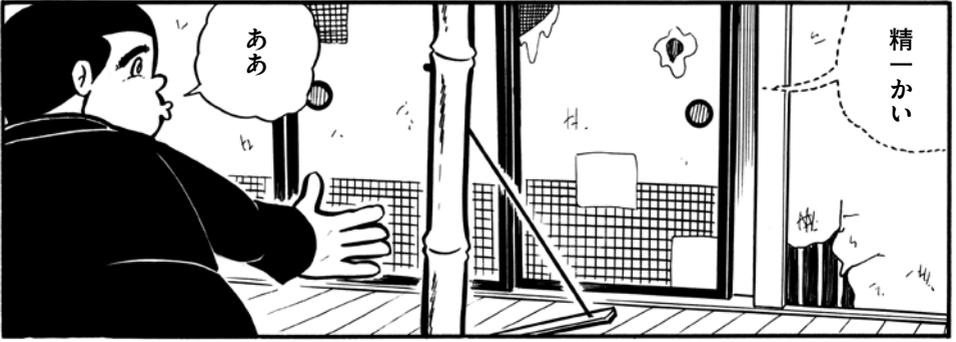
あきら  
……



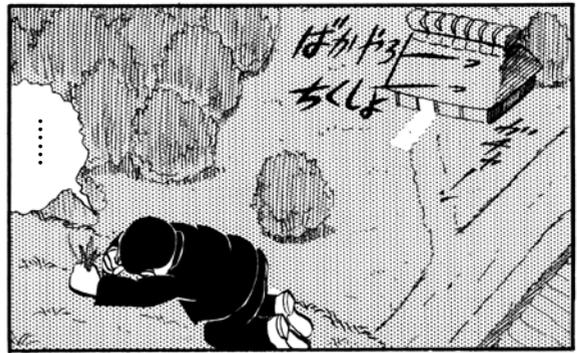
村中のけもの  
しやがって  
まだもの  
たりないのかよ

かえれ！  
かえれ！！

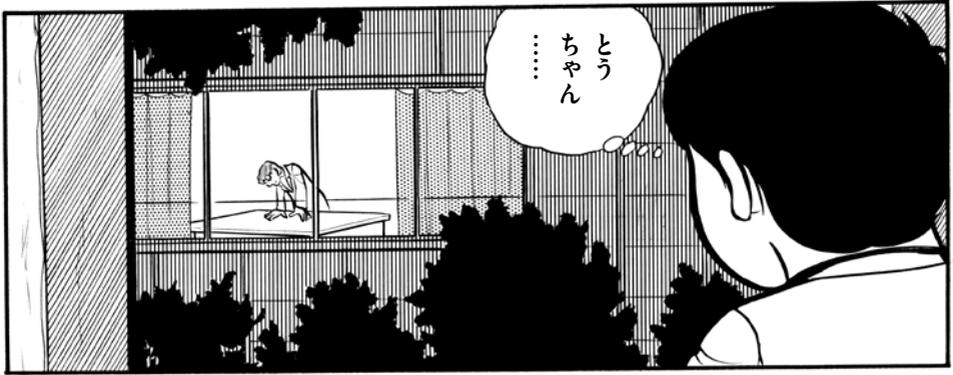














おねがいだ!  
なんとかなんとか  
かあちゃんの  
病気を  
なおしてやって  
ください

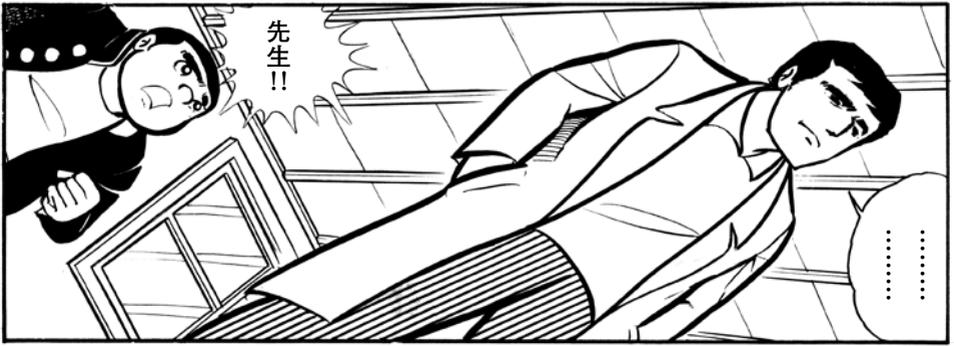


かあちゃんが  
体中の痛みで  
動けなく  
なっちゃって

はじめは  
おやじも  
がんばってたけど...

そのうち  
仕事もやらないで  
酒ばかり のむように  
なって 田んぼを売った  
お金まで だましとら  
れてしまっただ

先生!  
かあ  
ちゃんの  
病気を  
なおして  
ください  
!!



先生!!



それは  
ち……  
ちがうだ!!

先生  
……



きみの  
おぼ  
さん  
が  
なく  
な  
った  
時  
わ  
た  
し  
は  
ね  
死  
を  
ま  
つ  
こ  
と  
し  
か  
で  
き  
な  
か  
つ  
た

そして  
い  
ま  
で  
も  
……



わ  
た  
し  
に  
は  
な  
に  
も  
で  
き  
な  
い  
医  
者  
で  
あ  
り  
な  
が  
ら  
な  
に  
も  
で  
き  
な  
い  
ん  
だ  
よ  
……



だ  
め  
だ  
よ  
く  
め  
さ  
ん  
あ  
ん  
た  
は  
絶  
対  
安  
静  
な  
ん  
だ  
か  
ら

ヨロ!!



くめ  
さん!!



まさだ  
こまり

そんな  
心細いこと  
いっちゃ  
や

わしら  
先生だけが  
たより  
なんじや



ぼくも  
なにか  
やるから

先生!!

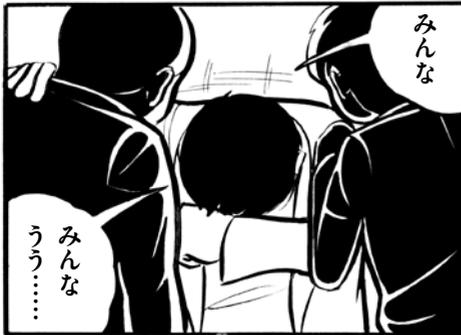


先生:  
先生:  
先生:

わしの体を  
研究につかっ  
て  
くだせい  
この病気を  
この世から  
なくして  
くだせい

おねげえだ  
先生!

わしが:wしが  
モルモットに  
なりますだ...  
先生!!



みんな

みんな  
うう.....



やって  
くれるか

てつだつて  
くれるか  
.....

数日後……  
一通の手紙が  
とどいた

んっ  
これは？

スペクトル化学分析で  
有名な化学者の  
小林教授からだった

あきら  
わかったぞ  
あきら！

ひと月ほど前に  
分析してみたという  
教授からの手紙に  
水を

ドク  
ドク

いちおう 数種類の水を  
送っただけなんだ

あきら  
これだ  
返事が  
きたぞっ

ドク  
ドク

多量の  
カドミウム  
検出!!

送られたお水の中  
にカドミウムが  
検出された  
これは  
大変な  
事だ  
お水  
を  
飲  
ん  
だ  
ら  
し  
う  
な  
ら  
ば  
死  
ん  
で  
し  
ま  
う  
ぞ

たか子  
……

かあ  
さん!!  
やったよ……  
わかったん  
だ……

そして  
患者のかみの  
毛けつめ  
田んぼの土や  
米から多量の  
カドミウムが  
発見されたのだ

Cd

Cd

Cd

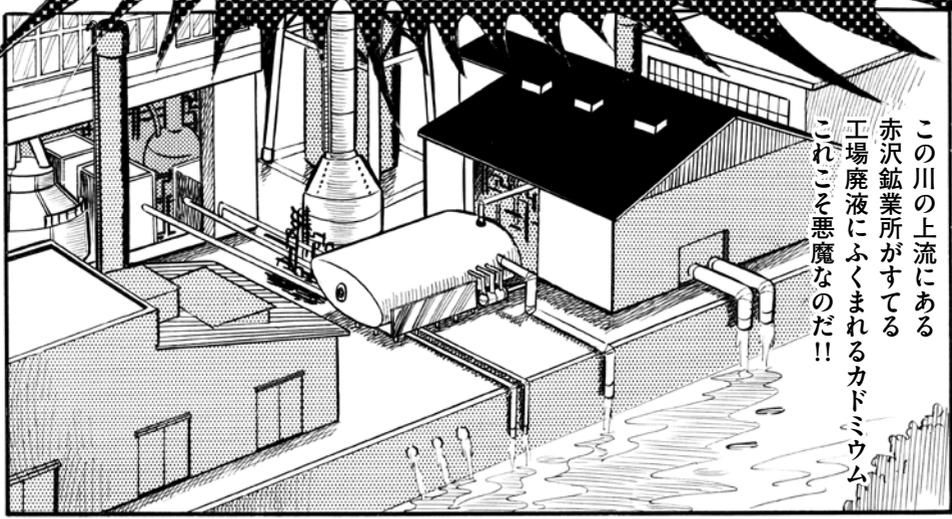
みつけたぞ  
とうとう  
みつけたぞ！

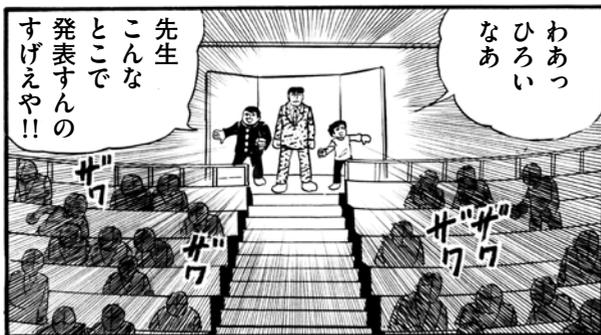
人類の  
未来をになう原子力  
その原子炉の  
制ぎよ棒に 使われて  
いる物質 カドミウム  
それがいま この川に  
悪魔となつて  
うごめいているのだ

その名は

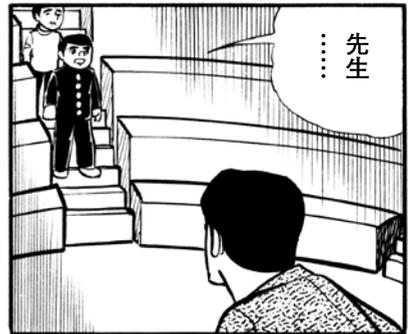
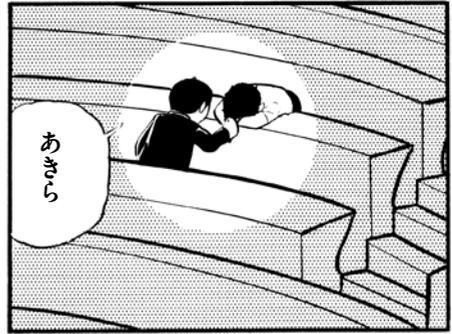
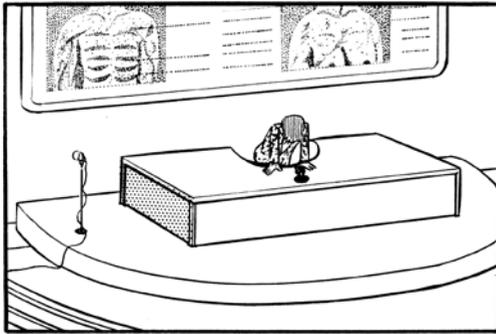
# カドミウム!

この川の上流にある  
赤沢鋳業所がすてる  
工場廃液にふくまれるカドミウム  
これこそ悪魔なのだ!!











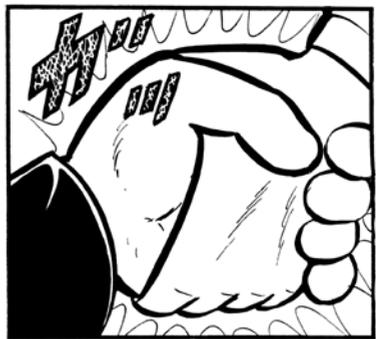


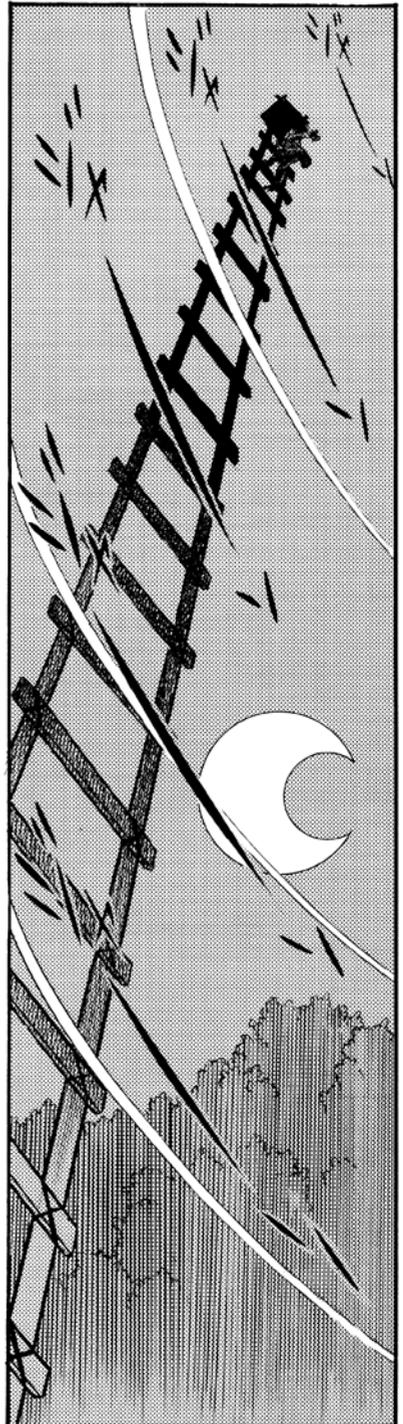


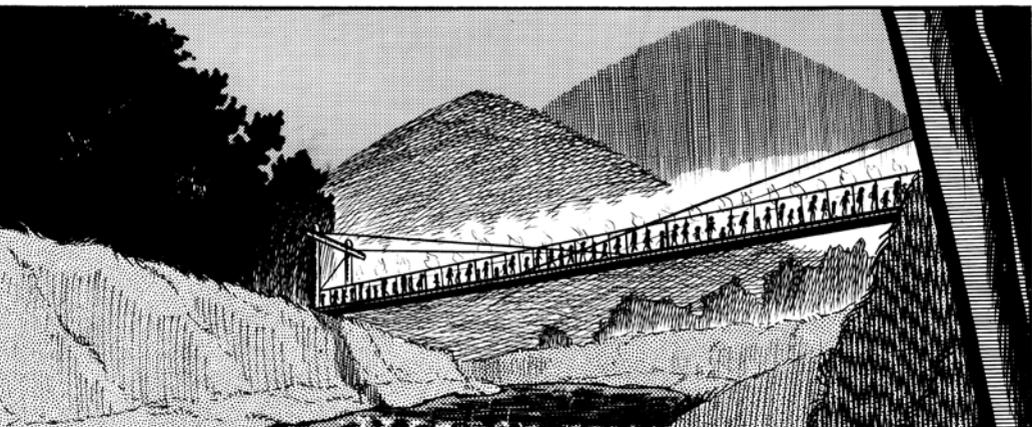


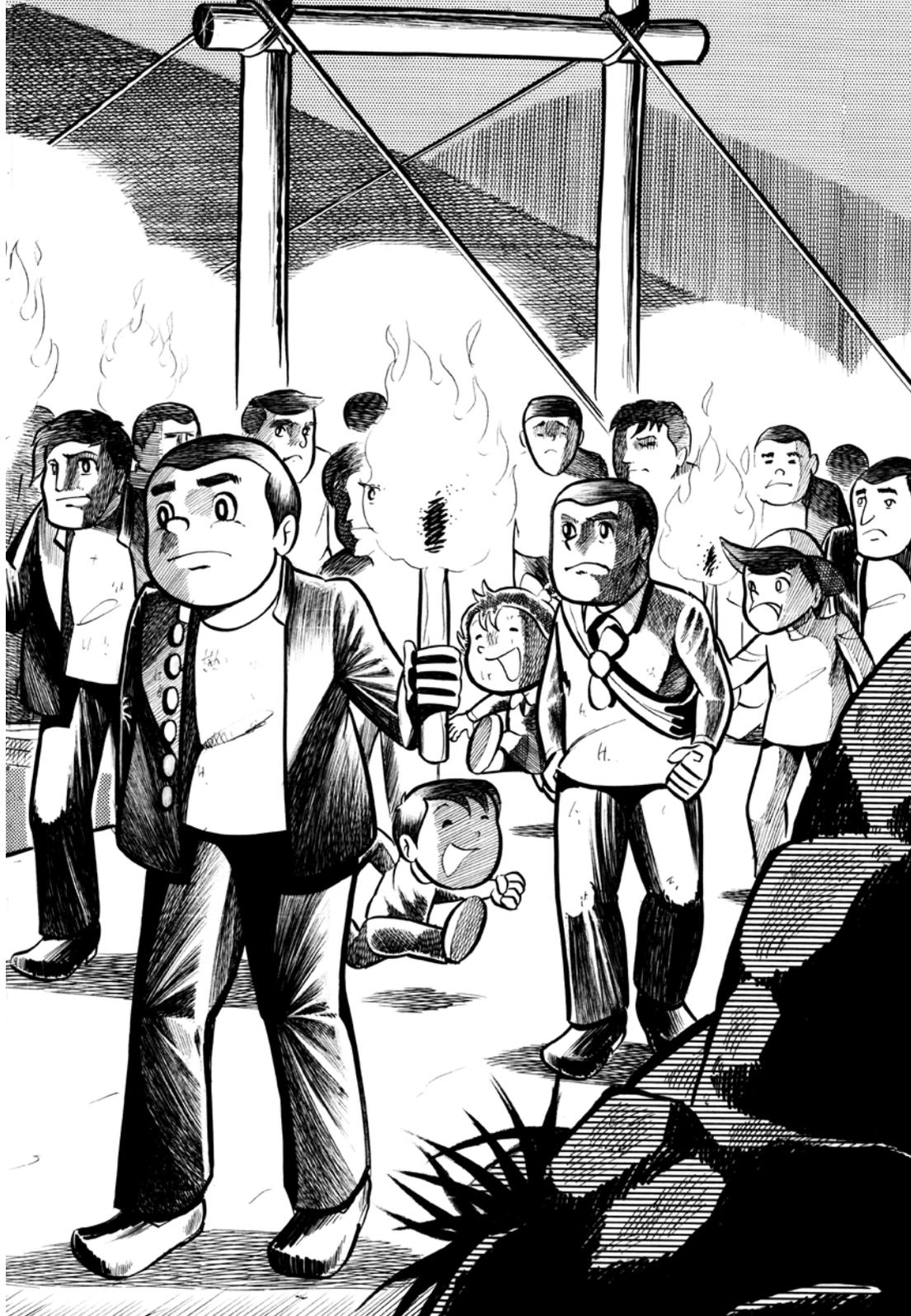












そのころ  
あきらと番長を先頭に  
百数十人の子どもたちは  
富山市にむかつて  
数ヶ所もの道のりを  
ゆつくりと  
神通川にそって  
くだっていくのだった……

